

1. 現在の守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括について

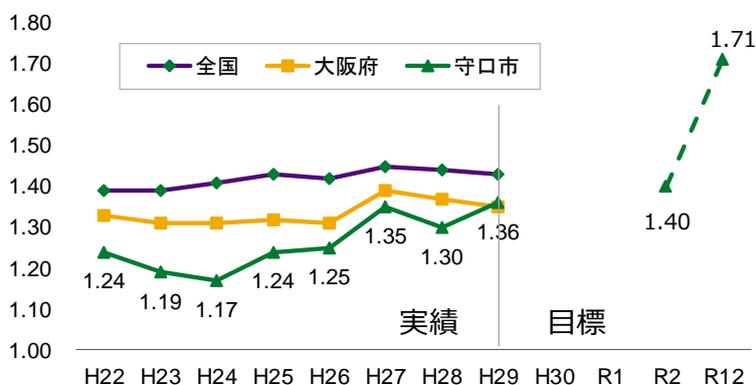
(1) 基本目標の数値目標の推移

**基本目標1 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる**

市民の希望出生率（1.71）の実現に向けて、若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえることをめざします。

数値目標：合計特殊出生率 1.26（H22） → 1.40（H32） → 1.71（H42）

達成状況→合計特殊出生率は上昇傾向にあり、H29に大阪府を上回った。



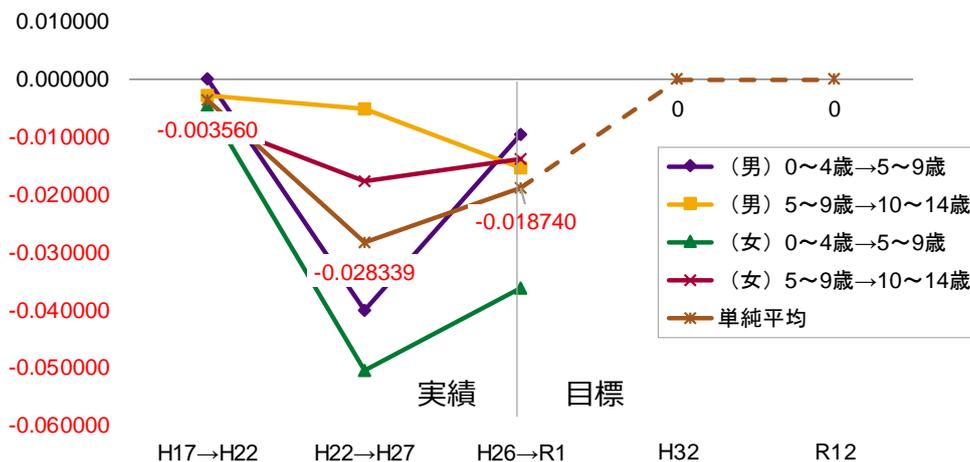
**基本目標2 安心・快適・便利に暮らせる大都市に隣接した居住地にする**

治安への不安、自然の少なさといった課題の軽減に取り組むことで、本市の利便性という強みを加えた、「安心・快適・便利」に暮らせる大都市に隣接した居住地づくりをめざします。

数値目標：0-9歳の純移動率※ -0.003560（H22）  
→ 0（＝転入出均衡）（H32） → 0（＝転入出均衡）（H42）

達成状況→ 0-9歳の純移動率は改善傾向にあるが、転出入均衡には至っていない。

※上記の0-9歳の純移動率は、0-4歳・5-9歳の男性・女性の純移動率の平均値



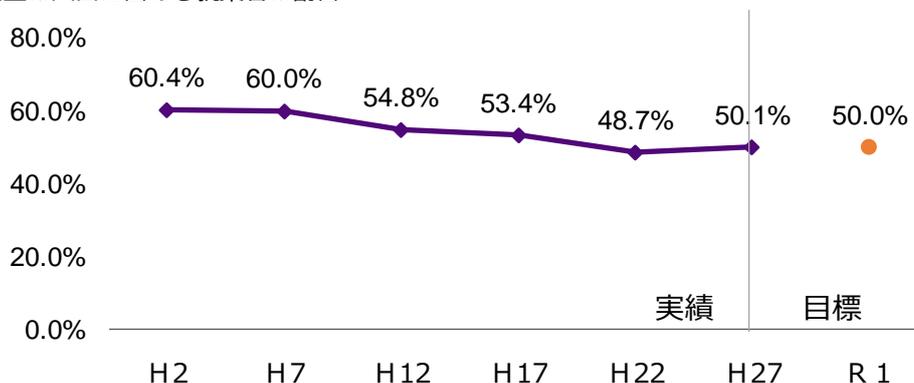
### 基本目標3 様々なしごとの場を身近で提供する

市民の生活の安定とともに、社会において、能力を発揮し活躍することができるように、様々なしごとの場を身近で提供することをめざします。

数値目標：就業率※ 48.7% (H22) → 50.0% (H31)

達成状況→H27の就業率は50.1%となっており、目標(50.0%)を上回っている。

※15歳以上の人口に占める就業者の割合



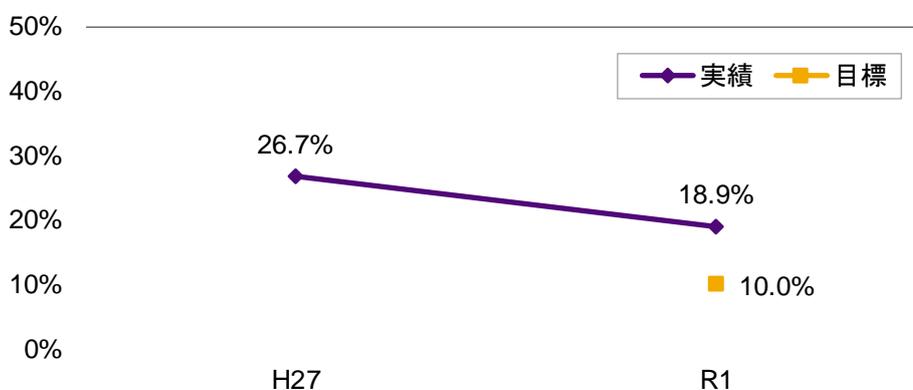
### 基本目標4 守口市の魅力を高め、発信し、守口市を誇りに思う市民を増やす

守口市の様々な魅力を高め、魅力を市内外に広く発信することで、都市のイメージアップをはかるとともに、守口市を誇りに思う市民を増やすことをめざします。

数値目標：「まちのイメージが良くない」と思う若年者の割合  
26.7% (H27) → 10.0% (H31)

達成状況→H27に比べて「まちのイメージが良くない」と思う若年者の割合が減っている。

「まちのイメージが良くない」と思う若年者の割合



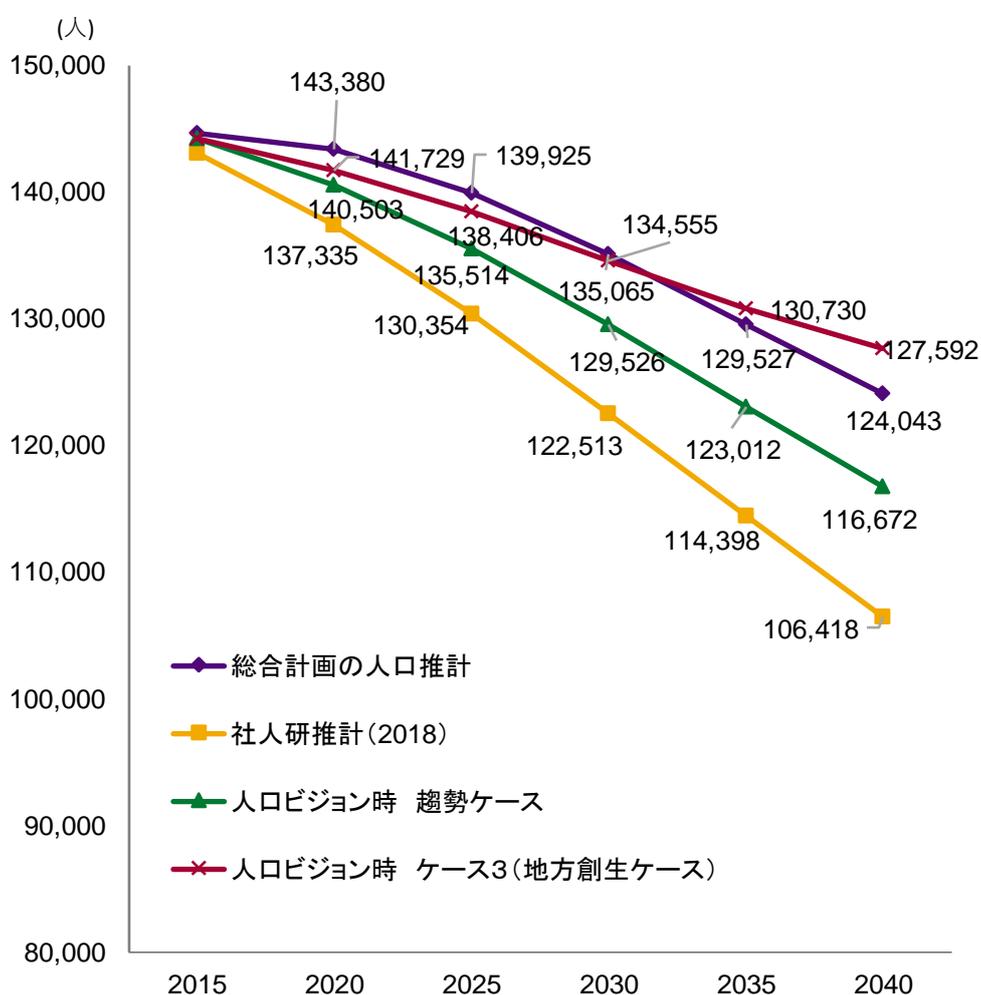
(資料) 総計若者アンケート (R1)

悪いイメージ (4.8%) + どちらかといえば悪いイメージ (14.1%) = 18.9%

## (2) 人口の推移

- ・令和2年6月1日の人口は143,783人です。人口ビジョンを策定後の平成28年6月1日の人口は144,358人で、4年間で575人減少しています。
- ・現在の人口ビジョン（平成28年3月策定）の地方創生ケース（令和2年：141,729人）に比べると、人口の減少は緩やかとなっています。
- ・第6次総合計画での人口推計報告書によると、令和22年の人口の見通しは124,043人で、現在の人口ビジョンの見通しよりも、約3,500人減少する見込みです。

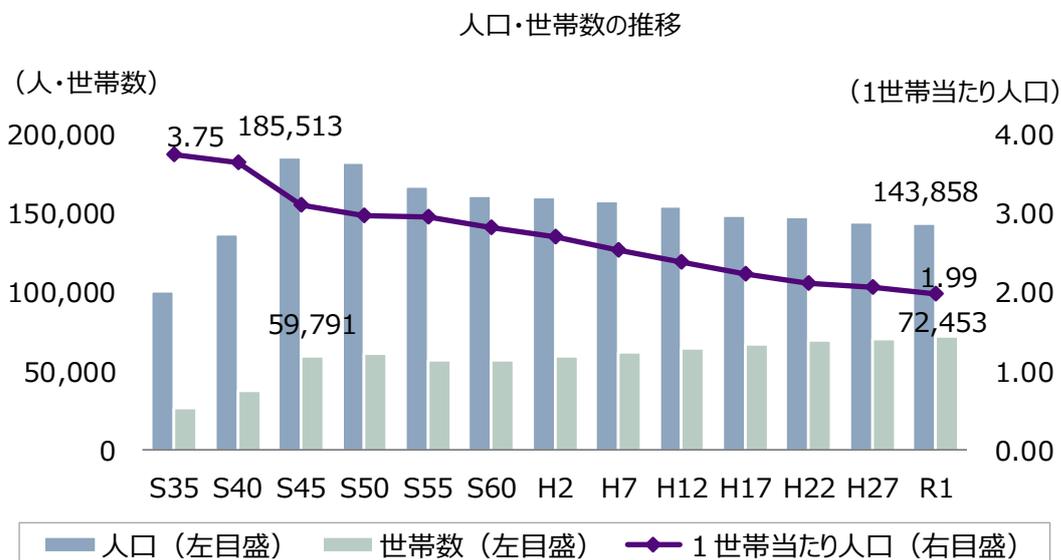
現在の人口ビジョンの人口見通しと、6次総計での人口の見通し



### (3) 関連する人口データ

#### ①人口・世帯数

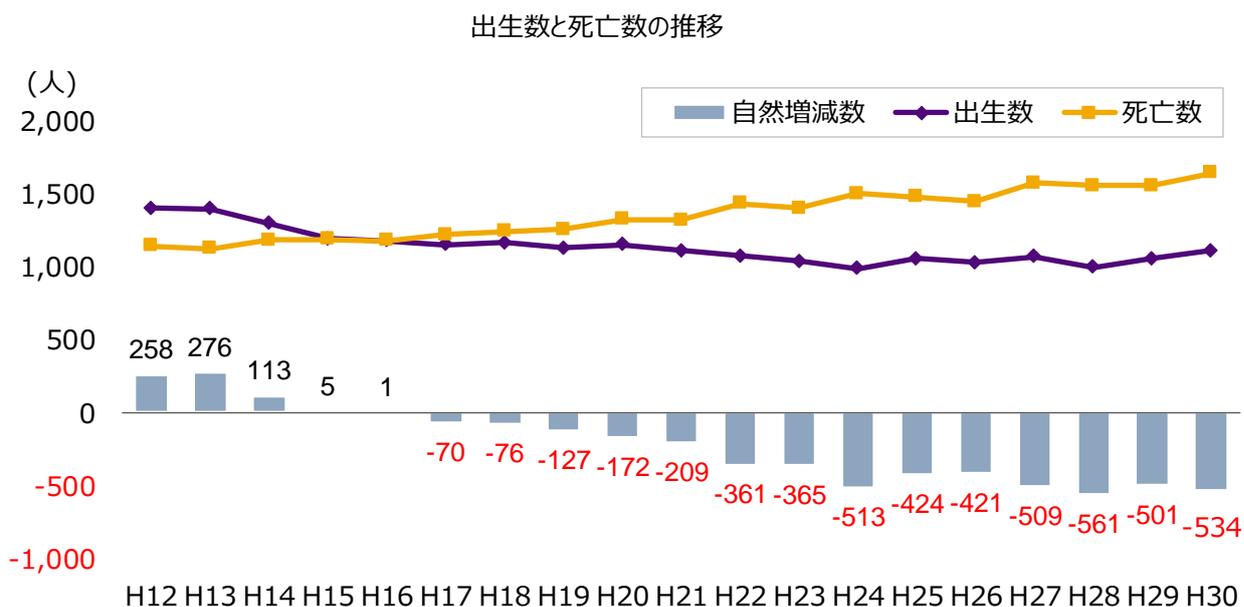
○人口は減少傾向にあるが、世帯数は増えている。世帯当たり人口は減少している。



(注) 住民基本台帳人口 (各年 10 月 1 日現在)  
(資料) 守口市「守口市統計書」

#### ②自然動態 (出生数－死亡数)

○平成17年以降、死亡数が出生数を上回る「自然減」が続いている。

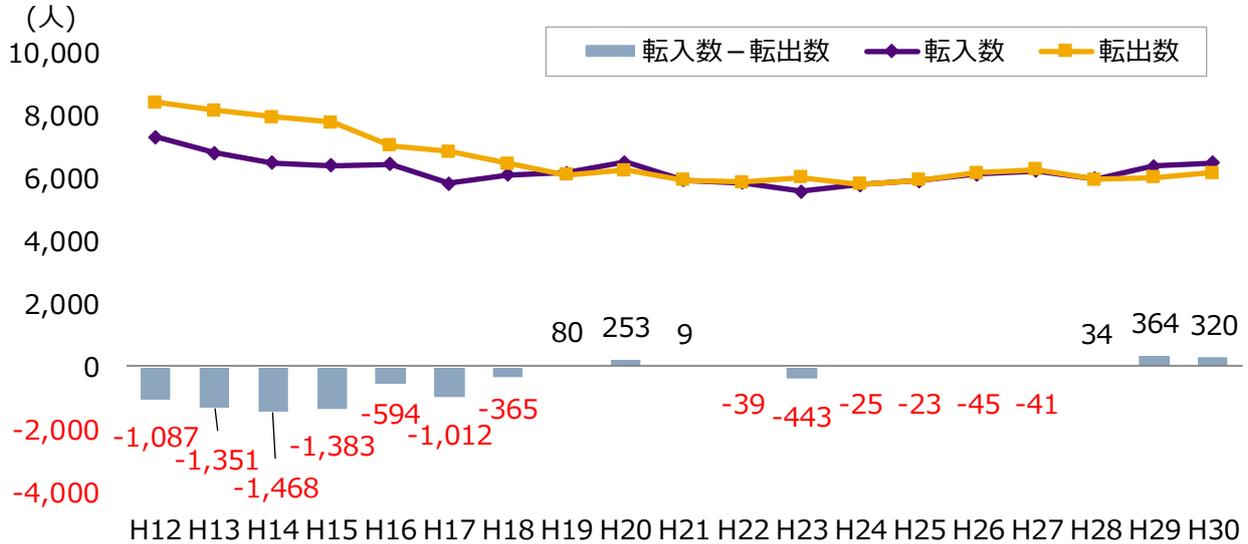


(資料) 守口市「守口市統計書」

### ③社会動態（転入者－転出者）

○平成22年以降、転出数が転入数を上回っていたが、平成28年以降は転入数が転出数を上回っている。

転入数と転出数の推移



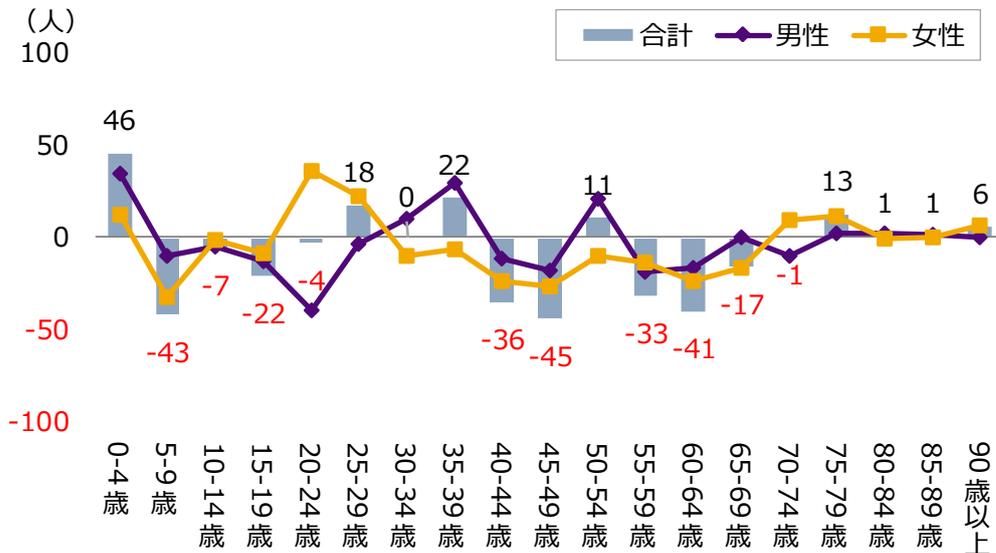
H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30

(注) 転入数には転出取消・帰化を含まない。転出数には職権削除・国籍喪失を含まない。

(資料) 守口市「守口市統計書」

○平成30年の5歳階級別の社会増減数（転入数－転出数）を男女別にみると、男性が10人以上転入超過なのは、「0～4歳」、「30～34歳」、「35～39歳」、「50～54歳」、女性では「0～4歳」、「20～24歳」、「25～29歳」、「75～79歳」となっている。

5歳階級別社会増減の状況（H30）



(資料) 総務省「住民基本台帳人口移動報告」

○平成22年から平成27年にかけて、守口市全体では893人の転出超過となっている。内訳をみると、大阪市と東大阪市からは転入超過となっている。転出超過が多いのは枚方市である。

5年前の常住地から見た転出入先の内訳（H27）

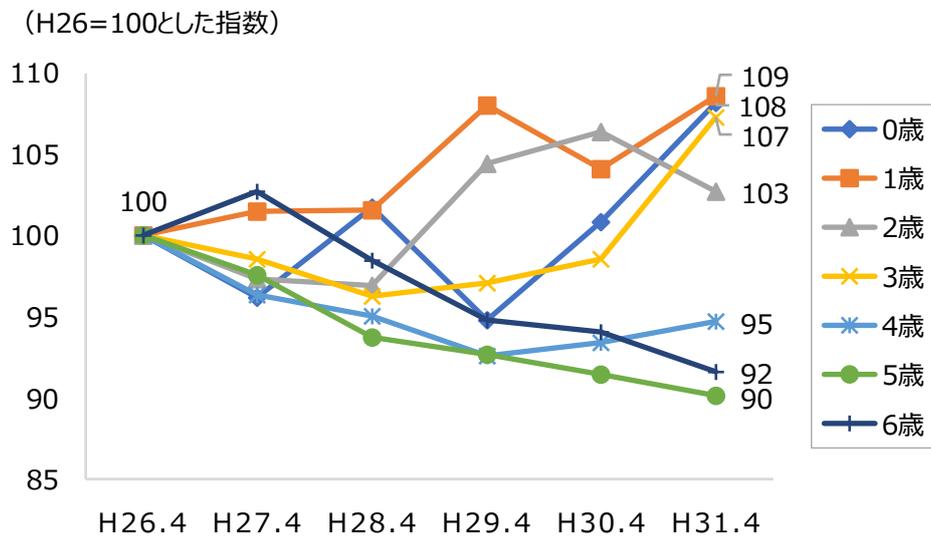
	守口市への転入者数	守口市からの転出者数	転入者数－転出者数
市外合計	13,167	14,060	-893
大阪市	3,527	2,777	750
門真市	1,469	1,511	-42
寝屋川市	991	1,035	-44
枚方市	487	648	-161
東大阪市	283	272	11
その他大阪府内	1,936	2,439	-503
大阪府外	4,277	5,378	-1,101

（資料）総務省「国勢調査」

#### ④子育て世帯に該当する年代の人口動向

○H26以降の0～6歳の人口推移をみると、0～3歳は増加しているが、4～6歳は減っている。

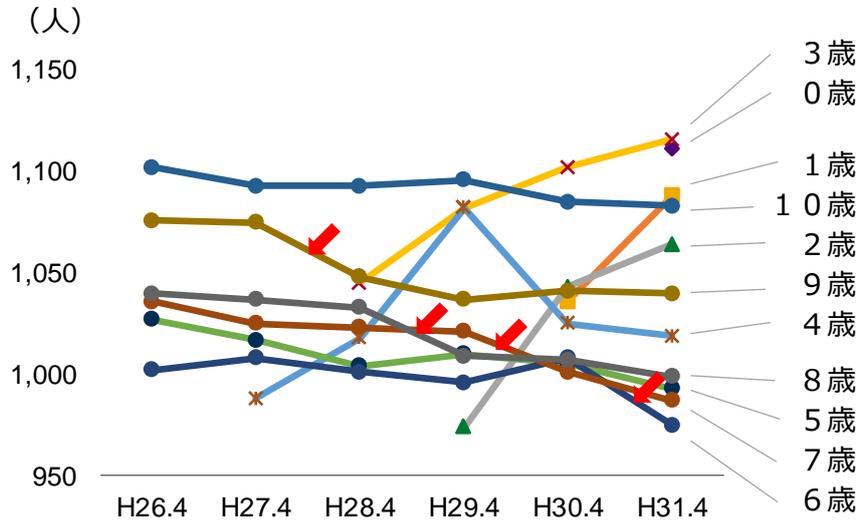
各歳別人口（0～6歳）の推移



（注）各年4月1日現在の住民基本台帳人口  
（資料）守口市ホームページ（年齢別男女別人口）

○H31年4月の各歳人口について、1年前、2年前等の人口を折れ線グラフにした。転出入がプラスマイナスゼロであれば、グラフは概ね水平の形状となる。特徴をみると、5歳から6歳にかけての1年間（赤い矢印）に転出超過が起こっている。一方、1歳～3歳人口は前年より増加している。

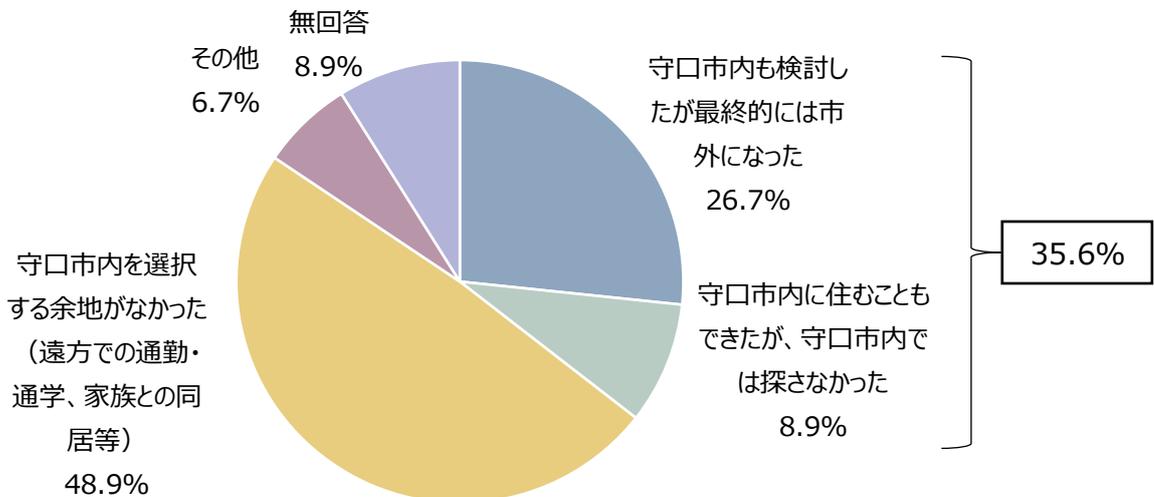
平成 31 年 4 月の各歳人口の過去の人口の推移



(注) 各年 4 月 1 日現在の住民基本台帳人口  
 (資料) 守口市ホームページ (年齢別男女別人口)

○転出者が引っ越し先をどのように検討したかについては、「守口市内も検討したが最終的には市外になった」が26.7%、「守口市内に住むこともできたが、守口市内では探さなかった」が8.9%となっており、転出者の35.6%が守口市に住み続けることもできたが、転出先として守口市を選ばなかった。

図表 - 1 引っ越し先をどのように検討したか (n=45)



(資料) 守口市「(仮称) 第 6 次守口市総合基本計画 策定に関するアンケート調査」

#### (4) これまでの取組例

総合戦略に掲げる基本目標	これまでの取組例
基本目標1 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設一体型小中一貫校及び統合校の開校</li> <li>・市立認定こども園の設置</li> <li>・幼児教育・保育の無償化</li> <li>・ファミリーサポート会員数増のためのPR等</li> </ul>
基本目標2 安心・快適・便利に暮らせる大都市に隣接した居住地にする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯カメラ設置台数の増</li> </ul>
基本目標3 様々なしごとの場を身近で提供する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内最大級の常設展示場MOBIOや守口門真商工会議所が主催または共催する展示商談会への参加支援を通じて市内事業所を支援</li> </ul>
基本目標4 守口市の魅力を高め、発信し、守口市を誇りを思う市民を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページアクセス数の増のため、各種SNSの開設</li> <li>・もりぐち歴史館「旧中西家住宅」の入館者数のためのイベントの充実等</li> </ul>

## 2. 第2期守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に向けて

### (1) 計画期間

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで（5年間）

### (2) 守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけ

第1期戦略と同様に、少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、市民の皆さんに住みよい環境を提供し、活力ある社会の維持を目指すことを目的に、**令和3年度を始期とする市の最上位計画である第6次守口市総合基本計画の個別計画の一つとして位置づけるもの。**

#### 論点（案）

- ①小学校就学前年齢の子ども（5～6歳）を含むファミリー層の転出に歯止めをかけるために必要な施策は何か。
- ②第1期戦略に記載している基本目標を絞込み、人口減少の歯止めとする内容に特化した戦略とするかどうか。  
（＝総合基本計画と総合戦略の役割分担をどのように図るか。）

## (参考) 第2期守口市まち・ひと・しごと創生総合戦略のテーマについて

### 第1期に記載しているテーマ

#### 守口創生の基本理念

安心・快適・便利に子育てできるまち・守口

#### 基本目標1 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

- ①結婚したい若者の活動支援 ②若い世代の妊娠・出産を支援
- ③若い世代の子育てを支援
- ④安心して子どもを預けることができる保育サービスの提供
- ⑤魅力ある学校教育の提供

#### 基本目標2 安心・快適・便利に暮らせる大都市に隣接した居住地にする

- ①若い世代が魅力を感じる住宅の供給促進と市内での住み替えの促進
- ②若い世代が安心して暮らせる防犯まちづくりの強化
- ③子育て親子が安心・快適に出かけられるまちづくりの推進

#### 基本目標3 様々なしごとの場を身近で提供する

- ①企業のビジネスの発展を支援 ②新たな雇用を生み出す創業を支援
- ③ワークライフバランスのとりやすい職場を増やす
- ④若い世代の就業を支援

#### 基本目標4 守口市の魅力を高め、発信し、守口市を誇りに思う市民を増やす

- ①守口市の魅力を発信する ②守口市の魅力に出会う機会をつくる
- ③守口市の元気拠点を整備する

### 第2期への記載を検討するテーマ例

- ①定住等に係る取組
- ②官民連携に係る取組 (※)
- ③若者によるワークショップの開催
- ④施策の幅広い情報発信に係る取組 (確実な情報発信に係る仕組づくり) (※)
- ⑤防犯・防災を意識したまちづくり (※)
- ⑥企業版ふるさと納税を活用した取組 (国・府の同戦略に記載あり)
- ⑦SDGsの推進 (国・府の同戦略に記載あり)

※これまでの創生委員会でのご意見